

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2025年7月30日時点)

➤ **露軍は、クルスク州及びウクライナ東部・南部地域**において攻勢やウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続。また、ウクライナ軍も露領内への攻撃を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

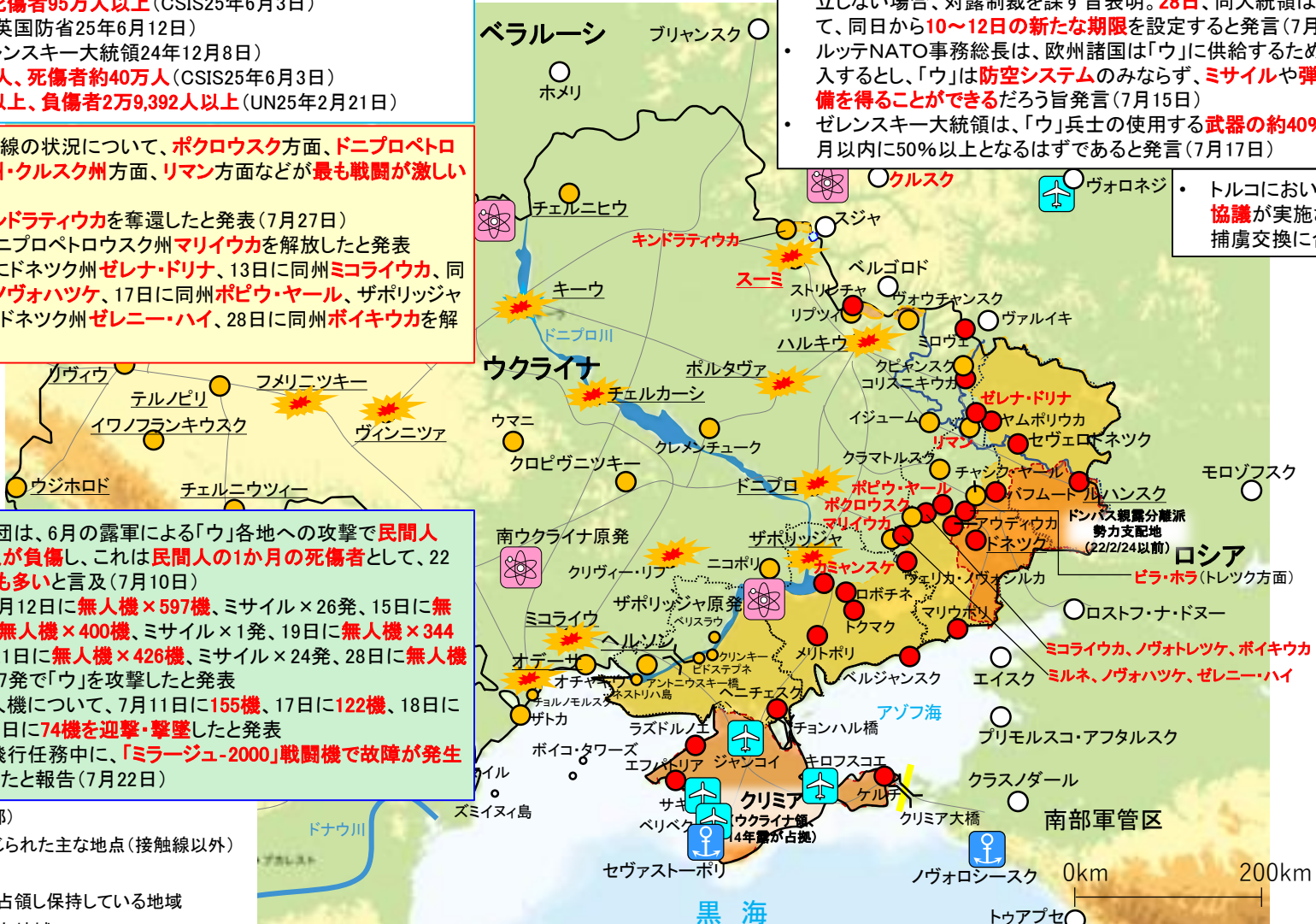
- 露軍: **死者約19.8万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
: **死者最大25万人、死傷者95万人以上**(CSIS25年6月3日)
: **死傷者約100万人**(英国防省25年6月12日)
- 「ウ」軍: **死者4.3万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
: **死者最大6~8万人、死傷者約40万人**(CSIS25年6月3日)
- 「ウ」市民: **死者12,654人以上、負傷者2万9,392人以上**(UN25年2月21日)

- 「ウ」軍総司令官は、前線の状況について、**ポクロウスク方面、ドニプロペトロウスク州方面、スーミ州・クルスク州方面、リマン方面**などが**最も戦闘が激しい**旨表明(7月25日)
- 「ウ」軍は、スーミ州 **キンドラティウカ**を奪還したと発表(7月27日)
- 露国防省は、26日にドニプロペトロウスク州 **マリウカ**を解放したと発表
- 露国防省は、7月11日にドネツク州 **ゼレナ・ドリナ**、13日に同州 **ミコライウカ**、同州 **ミルネ**、16日に同州 **ノヴォハツケ**、17日に同州 **ポピウ・ヤール**、ザポリヅジャ州 **カミヤンスケ**、26日にドネツク州 **ゼレニー・ハイ**、28日に同州 **ポイキウカ**を解放したと発表

- 国連の「ウ」人権監視団は、6月の露軍による「ウ」各地への攻撃で**民間人232人が死亡、1,343人が負傷**し、これは**民間人の1か月の死傷者**として、22年の**侵略開始以来最も多い**と言及(7月10日)
- 「ウ」空軍は、露が、7月12日に**無人機×597機**、ミサイル×26発、15日に**無人機×267機**、16日に**無人機×400機**、ミサイル×1発、19日に**無人機×344機**、ミサイル×35発、21日に**無人機×426機**、ミサイル×24発、28日に**無人機×208機**、ミサイル×27発で「ウ」を攻撃したと発表
- 露国防省は、「ウ」無人機について、7月11日に**155機**、17日に**122機**、18日に**73機**、20日に**93機**、21日に**74機**を**迎撃・撃墜**したと発表
- 「ウ」空軍は、22日の飛行任務中に、「**ミラージュ-2000**」戦闘機で**故障が発生**し、**パイロットが脱出**したと報告(7月22日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☁ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☁ ウクライナ軍が占領した地域

- トランプ大統領は、NATOのルッテ事務総長と会談し、**NATO経由で「ベトリオット」防空システム**を含む**追加の兵器**を「ウ」に**供与**するほか、**50日以内**に停戦が成立しない場合、**対露制裁**を課す旨表明。**28日**、同大統領は、**待つ理由がない**として、同日から**10~12日の新たな期限**を設定すると発言(7月14日、28日)
- ルッテNATO事務総長は、**欧州諸国は「ウ」に供給**するために**兵器を米国から購入**するとし、「ウ」は**防空システムのみならず、ミサイルや弾薬など大量の軍事装備を得ることが**できるだろう旨発言(7月15日)
- ゼレンスキー大統領は、「ウ」兵士の使用する**武器の約40%が国産**であり、**6か月以内**に50%以上となるはずであると発言(7月17日)
- トルコにおいて、**第3回露「ウ」高官協議**が実施され、双方はさらなる**捕虜交換に合意**(7月23日)



国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等